

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	応用ネットワークプログラミング	
科目基礎情報							
科目番号	1019			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	電子情報通信工学専攻 (2023年度以前入学者)			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	小高知宏 著 「TCP/IP Javaネットワークプログラミング (第2版)」 オーム社						
担当教員	宮武 明義						
到達目標							
1. Java開発環境を設定できる。 2. ソケットを用いたサンプルアプリケーションの仕様を説明できる。 3. ソケットを用いたサンプルアプリケーションを改良できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	Java開発環境を設定し、プログラムを実行できる。		Java開発環境を設定できる。		Java開発環境を設定できない。		
評価項目2	ソケットを用いたオリジナルのアプリケーションを設計できる。		ソケットを用いたサンプルアプリケーションの仕様を説明できる。		ソケットを用いたサンプルアプリケーションの仕様を説明できない。		
評価項目3	ソケットを用いたオリジナルアプリケーションを実現できる。		ソケットを用いたサンプルアプリケーションを改良できる。		ソケットを用いたサンプルアプリケーションを改良できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	現在、多くのネットワークアプリケーションが開発・利用されている。これらのアプリケーションに用いられている通信技術やプロトコルを理解する。						
授業の進め方・方法	前半は、Java言語によるネットワークアプリケーションの開発手法を、サンプルプログラムを理解しながら学習する。後半は、数人でチームを作り、オリジナルのネットワークアプリケーションを提案し、プロトコル設計、プログラム設計と実装を行う。最後に、チーム単位で開発したアプリケーションのデモを行い相互評価する。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス				
		2週	開発環境のインストール		開発環境を設定できる		
		3週	開発に用いるツールの活用方法		ソフトウェア開発に利用する標準的なツールの種類と機能を説明できる		
		4週	サンプルプログラムのコンパイルと実行		Java 言語によるプログラミングができる		
		5週	ソケット通信プログラムの理解		サンプルのソケット通信プログラムを理解する		
		6週	ソケット通信プログラムの拡張				
		7週	オリジナルアプリケーションの外部仕様定義		サンプルプログラムを基に、オリジナルのアプリケーションを設計できる		
		8週	プロトコル設計				
	2ndQ	9週	プログラム設計				
		10週	コーディング1		オリジナルのアプリケーションを設計どおりに実現できる		
		11週	コーディング2				
		12週	テスト				
		13週	プレゼンとデモ		オリジナルのアプリケーションを説明できる		
		14週	相互評価				
		15週	試験問題の解答、授業評価アンケート				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験		発表	相互評価	ポートフォリオ	合計	
総合評価割合	70		10	10	10	100	
基礎的能力	30		0	0	0	30	
専門的能力	40		10	10	10	70	
分野横断的能力	0		0	0	0	0	